

基調講演

学生・教職員のメンタルヘルス ＝教職員はどこまで学生に関わるべきか＝

学生のうつ傾向、適応障害や発達障害傾向は年々増加しています。この要因は、多様化・深刻化し、退学者や休学者の問題とも深く関わっています。また、教職員が学生にどこまで関わっていくべきなのか。責任感が強く仕事熱心な教職員ほど、誰にも相談できずに問題を抱え込む傾向があるといわれています。

改めてその実態を整理して、予防や対策への取組み、課題解決の糸口を探っていきます。メンタルヘルス不調者の早期発見、良好な人間関係の形成、学生と教職員の心のケア、不安解消、ストレスマネジメントなど、学生支援の予防と対応策、教職員の心の健康を考えます。

講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。

学校や企業での現場経験を踏まえた、〈問題提起〉とその〈背景説明〉、そして〈解説〉を通して「学生・教職員のメンタルヘルス」の必要性について理解を深めていきます。

- 〈問題提起〉 不登校・退学（休学）、休職理由の分析
- 〈背景説明〉 教育現場におけるメンタルヘルス不調の現状
- 〈解説〉 適切な予防と対応策。具体的なケーススタディや防止策等の提案
- 〈まとめとリフレクション〉

廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（公認心理士・臨床心理士・文学博士）
1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授を経て現職。他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）、国立国会図書館、千葉県庁（復職支援）、再就職支援会社、都内クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。職場の「メンタルヘルスとコミュニケーション」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセラー養成講座」などの研修講師も勤める。

〈主な著書〉

- ・「成人発達臨床心理学ハンドブック一個と関係性からライフサイクルを見る―」（岡本祐子編）ナカニシヤ出版
- ・「統合的心理臨床への招待」（村瀬嘉代子監修 共編著）ミネルヴァ書房
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版